

自炊 Q&A

Q1 自炊はどこで行いますか？

A1 集いの広場横の『第1自炊場』と、うみねこ広場横の『第2自炊場』があります。第2自炊場にはカマドが6基設置されていますが、第1自炊場にはカマドがありません。持ち運び可能な半ドラ(ドラム缶を半分に切ったもの)がありますので、お好きな場所に設置して調理を行ってください。

Q2 自炊の際、指導はつきますか？

A2 海洋センタースタッフの指導はつきません。団体様側での指導・管理をお願いします。(※食器類の返却や残飯処理など後片付けの確認をお願いします。)
(※食器の後片付けにつきましては洗った後タオルで水気を拭き取ってから元の場所へ返却してください。)

Q3 食材の持ち込みは可能ですか？

A3 日帰り利用の団体のみ持ち込み可能です。宿泊団体に関しましては、入所日のみ可能です。食品衛生安全のため翌日以降の自炊は原則禁止です。

Q4 薪・炭・着火剤はどこで購入できますか？

A4 炭・着火剤は事務所にて販売しております。スタッフにお声かけください。薪は第1自炊場にございますので使用した束数を精算時にお知らせ下さい。

Q5 自炊の際、団体側で準備物はありますか？

A5 ゴミ袋(透明または半透明のもの)・割り箸・食器洗いのスポンジ・ふきん・軍手・ライター(またはマッチやチャッカマン)・手洗い用石鹸等をご準備ください。食器を洗う洗剤は自炊倉庫にあります。

Q6 ゴミの処理はどのように行えばよいですか？

A6 海洋センターでは、燃えるゴミ(生ゴミ含む)・カン・ビン・ペットボトル(キャップとラベルは剥がしてプラスチックゴミへ)・プラスチック(スーパーの袋・ペットボトルのキャップ・ラベル等)に分別をお願いしています。透明のゴミ袋(または半透明のもの)に入れ、駐車場下にある『ゴミ収集場所』まで持って行ってください。

Q7 灰の処理はどのように行えばよいですか？

A7 自炊倉庫に灰処理用のスコップ・塵取り・火ばさみがありますので、完全に火が消えてから灰を集めて、たこ広場奥の『灰置き場』に残り木と灰に分けて捨ててください。(※絶対に水をかけて消火しないでください。まだ燃えている場合は次の日の朝に処理を行ってください。)

Q8 自炊用具の貸し出しに料金は必要ですか？

A8 自炊場利用代(用具代含む)としてお1人様100円が必要です。

Q9 自炊のときにお茶はもらえますか？

A9 はい。自炊倉庫にあるやかん又はお鍋を食堂にお持ちください。人数が多い場合は事前にご連絡ください。

Q10 米を炊く時間がないのですが。

A10 炊さん食材(提供)に含まれている米は、炊き出し提供も可能ですので食材を申し込まれる際にお伝えください。

Q11 炊さん食材の食数の変更はいつまでに連絡すればいいですか？

A11 8日前の17時までにご連絡ください。8日前を過ぎてしまうと変更ができませんので、ご注意ください。
炊さん食材はグループごとに分けて提供させていただきますのでグループ数を8日前までにご連絡ください。

Q12 雨天の場合でも、自炊は行えますか？

A12 自炊場は屋根がございますので、実施可能です。人数が多い場合はマリnhausをご利用頂くこともございます。